

# 第 I 章 調査の概要

## 1. 調査の目的

大都市交通センサスは、昭和 35 年より 5 年毎に首都圏、中京圏、近畿圏の三大都市圏において、鉄道・バス等の大量公共輸送機関の利用実態を調査し、各都市圏における旅客流動量や鉄道・バス等の利用状況（利用経路、乗換え関係、端末交通手段、利用時間帯分布等）、乗換え施設の実態（鉄道駅の乗換え、バス・鉄道の乗換え）を把握するとともに、人口の分布と輸送量との関係、輸送需要構造等の分析を行い、三大都市圏における公共交通施策の検討に資する基礎資料を提供することを目的として実施されている。

第 11 回の大都市交通センサスでは、実態調査が平成 22 年に実施され、平成 23 年度については、そのサンプルデータから全利用者数に拡大推計するなどの作業によって、集計表が作成された。

3 年目に当たる本調査では、政策ニーズ等から分析課題を設定し、平成 23 年度に作成したデータベースを基に、課題に対する分析を行う深度化調査を実施するとともに、次回調査に向けた基本仕様について検討を行った。

本報告書は、上記調査内容のうち、大都市交通センサスデータの解析結果について整理したものである。

## 2. 調査内容

### 2-1 調査の全体構成

平成 22 年大都市交通センサスにおける調査の全体構成は、図 I -2-1 に示す通りである。

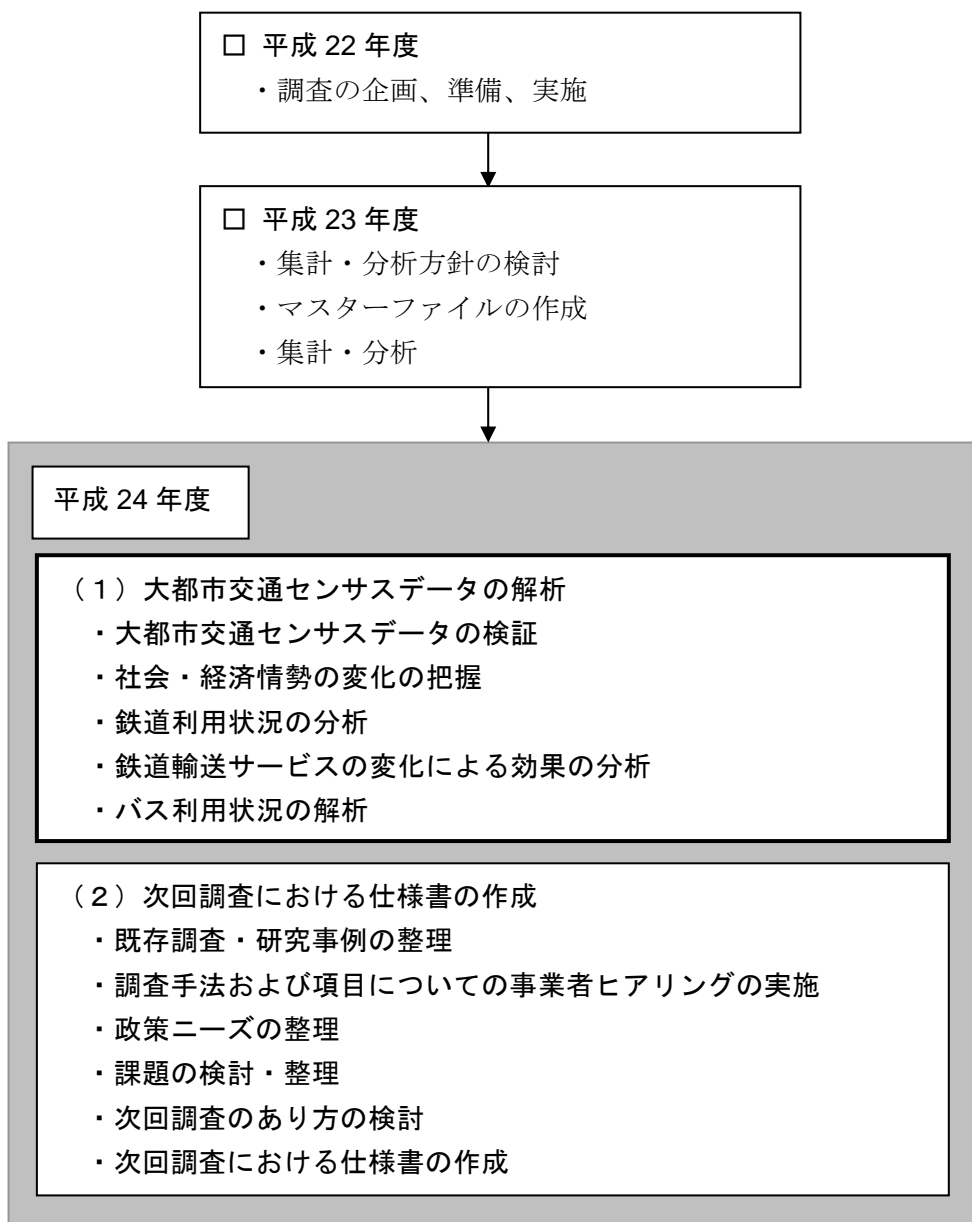


図 I -2-1 平成 22 年大都市交通センサスの調査の全体構成

## 2-2 調査対象圏域

大都市交通センサスは、三大都市圏（首都圏、中京圏、近畿圏）を対象としている。

### (1)調査対象圏域

平成 12 年調査までの大都市交通センサスの調査対象圏域は、以下の条件より設定されていた。

- ①首都圏の場合は東京駅、中京圏は名古屋駅、近畿圏は大阪駅までの鉄道所要時間が 2 時間以内（中京圏は 1 時間 30 分）
- ②首都圏は東京都 23 区、中京圏は名古屋市、近畿圏は大阪市への通勤・通学者数比率が 3%以上かつ 500 人以上を満たす市区町村
- ③さらに、これらの行政区と連坦する行政区も考慮する

平成 22 年大都市交通センサスでは、平成 17 年国勢調査データにもとづいて、調査対象圏域の設定を試みたところ、調査圏域周辺の多くの市町村が調査対象圏域の条件を満たしていなかった（平成 17 年調査の調査対象圏域の検討時も、平成 12 年国勢調査データにもとづいて検討を行ったが、状況は同様であった）。

しかしながら、大都市交通センサスの調査対象圏域は、昭和 50 年からほぼ現行と同じとなっており、統計調査の継続性等（圏域全体での通勤・通学の経年変化、各路線の利用者数の経年変化等）を考慮すると、調査対象圏域を変更することは適当でないと考えられたため、平成 22 年調査の調査対象圏域も基本的にはそれを踏襲したものとし、合併等による市区町村境の変更への対応など、軽微な変更にとどめることとした。

圏域別の調査対象圏域を以下に示す。

①首都圏

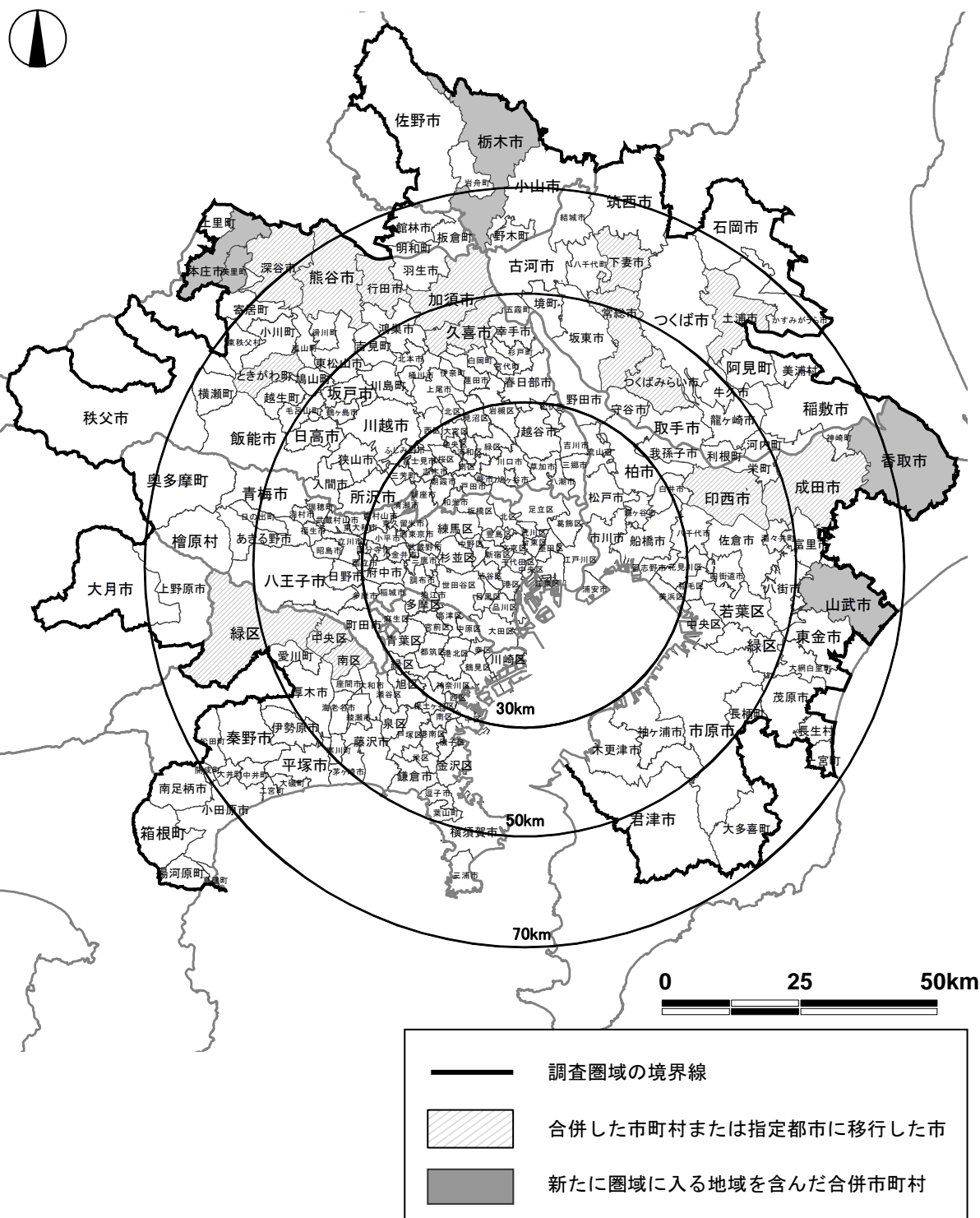


図 I -2-2 首都圏の調査対象圏域(平成 22 年 10 月 1 日時点)

②中京圏

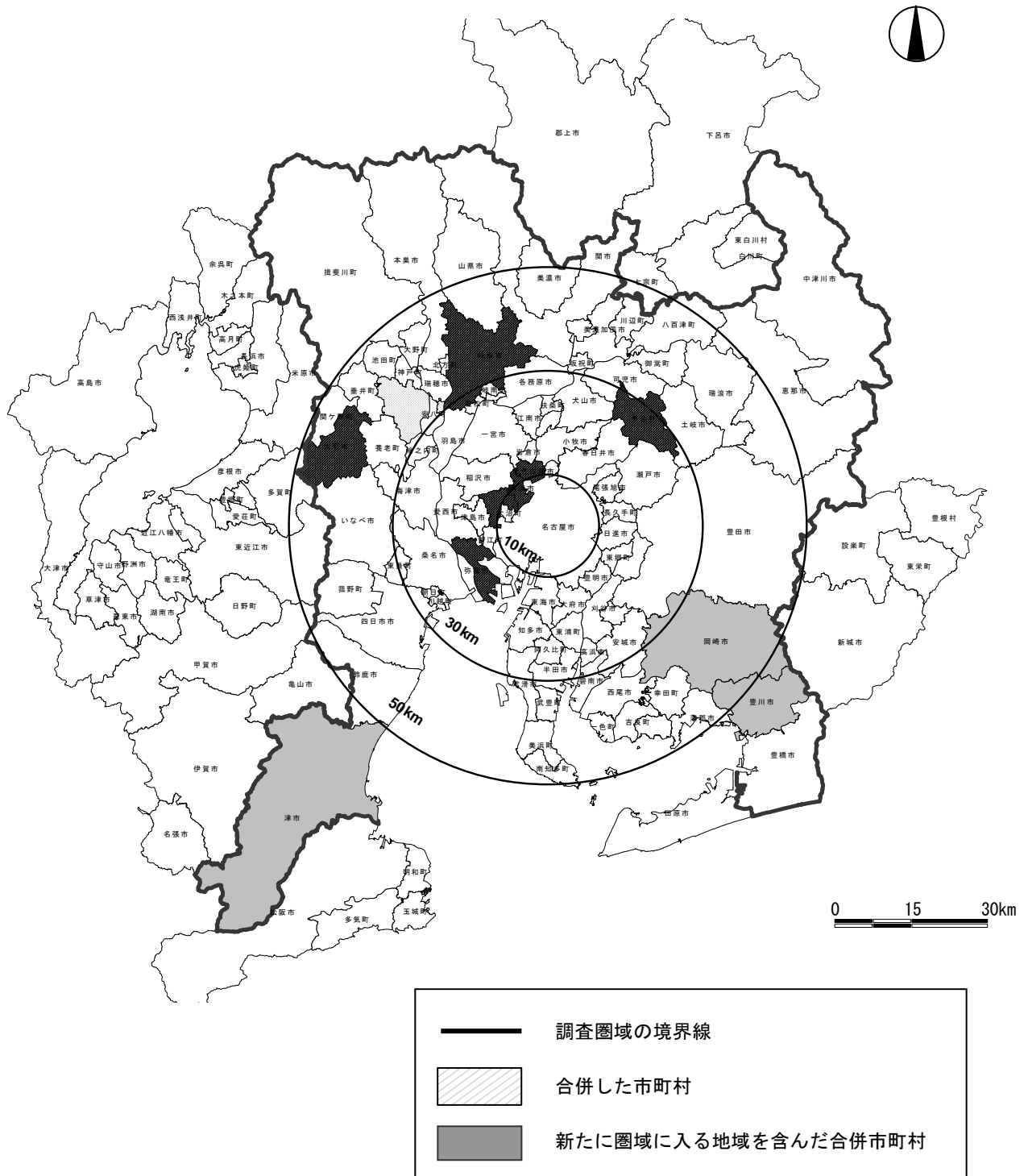


図 I -2-3 中京圏の調査対象圏域(平成 22 年 10 月 1 日時点)

### ③近畿圏

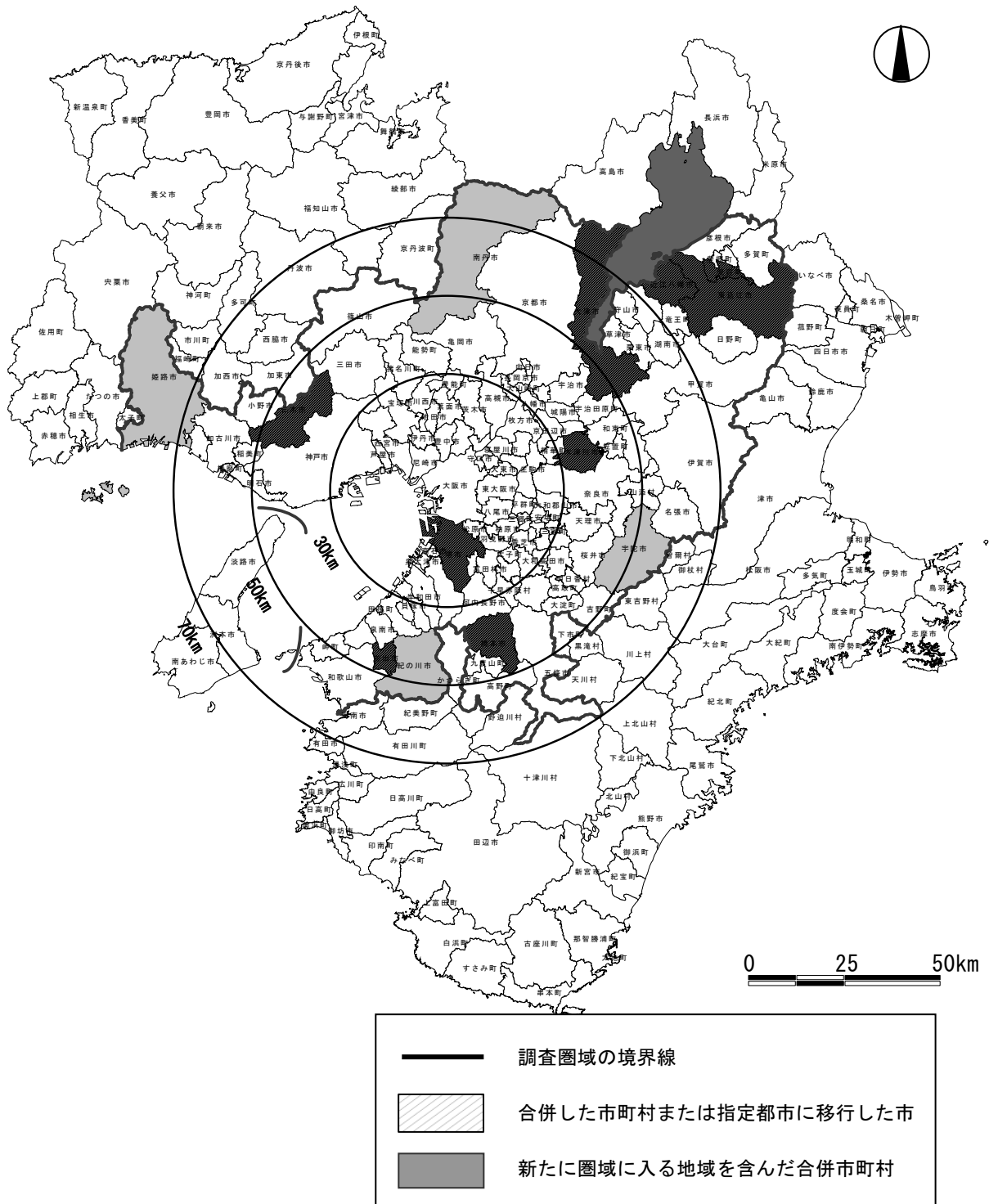


図 I -2-4 近畿圏の調査対象圏域(平成 22 年 10 月 1 日時点)

## (2) 鉄道調査対象路線

平成 22 年大都市交通センサスにおける鉄道定期券・普通券等利用者調査、鉄道 OD 調査、鉄道輸送サービス実態調査の対象路線（区間）を以下に示す（表 I-2-1～表 I-2-9）。

### 1) 鉄道定期券・普通券等利用者調査（鉄道調査区域）

調査対象圏域内にある駅・路線とした。ただし、路線の区間内で、一旦調査区域を通過したあと、再度調査対象圏域内に入る路線の場合は、調査対象圏域外の駅も鉄道調査区域に含めた。

### 2) 鉄道 OD 調査

鉄道 OD 調査については、上記の鉄道調査区域内の路線のうち、以下の①かつ②に該当する路線を調査対象外とした。

- ①各路線の利用者数を少ない順に累計していった場合にその累計数が、調査対象圏域の鉄道利用者総数の 1%未満に含まれる路線（平成 17 年大都市交通センサス結果）
- ②調査対象圏域内の市区町村において、都心<sup>※</sup>への通勤・通学者数比率が 3%以上かつ 500 人以上を満たさない市区町村（平成 17 年国勢調査結果）に、路線の調査対象区間の全部または一部区間が含まれる路線。ただし、都心まで直接乗り入れている路線は調査対象とする。

※ 都心：首都圏は東京都 23 区、中京圏は名古屋市、近畿圏は大阪市

### 3) 鉄道輸送サービス実態調査

幹線系の路線を抽出することを前提に、以下に示す抽出基準により対象路線を選定した。

- 首都圏
  - ・鉄道利用者総数の 1/100（1%）以上の利用者がある路線（50 万人／日・往復）
  - ・平均乗車人員が 5,000 万人／km・年（平成 20 年都市交通年報）以上の路線（新線の場合に考慮）
  - ・上記に該当する路線と相互直通を行っている路線
- 中京圏
  - ・鉄道利用者総数の 1/100（1%）以上の利用者がある路線（4 万人／日・往復）
  - ・上記に該当する路線と相互直通を行っている路線
- 近畿圏
  - ・鉄道利用者総数の 1/100（1%）以上の利用者がある路線（20 万人／日・往復）
  - ・上記に該当する路線と相互直通を行っている路線

表 I-2-1 首都圏の鉄道調査区間表(1)

事業者名	路線名	調査区間
東日本旅客鉄道	東海道本線	東 京 ～ 湯 河 原
	中央本線	東 京 ～ 笹 子
	東北本線	上 野 ～ 小 山
	京浜東北・根岸線	大 宮 ～ 大 船
	常磐線快速	上 野 ～ 石 岡
	常磐線各駅停車	北 千 住 ～ 取 手
	総武線各駅停車	千 葉 ～ 三 鷹
	総武本線	東 京 ～ 横 芝
	山手線	品 川 ～ 新 宿 ～ 田 町
	南武線	川 崎 ～ 立 川
	南武支線	尻 手 ～ 浜 川 崎
	鶴見線(1)	鶴 見 ～ 扇 町
	鶴見線(2)	浅 野 ～ 海 芝 浦
	鶴見線(3)	安 善 ～ 大 川
	武蔵野線	府 中 本 町 ～ 西 船 橋
	横浜線	東 神 奈 川 ～ 八 王 子
	八高線	八 王 子 ～ 児 玉
	横須賀線	東 京 ～ 久 里 浜
	相模線	茅 ヶ 崎 ～ 橋 本
	青梅線	立 川 ～ 奥 多 摩
	五日市線	拝 島 ～ 武 蔵 五 日 市
	川越線	大 宮 ～ 高 麗 川
	高崎線	上 野 ～ 神 保 原
	成田線	佐 倉 ～ 小 見 川
	成田支線(1)	成 田 ～ 我 孫 子
	成田支線(2)	成 田 ～ 成 田 空 港
	外房線	千 葉 ～ 東 浪 見
	内房線	千 葉 ～ 浜 金 谷
	埼京線	大 崎 ～ 大 宮
	久留里線	木 更 津 ～ 上 総 亀 山
	水戸線	小 山 ～ 下 館
	両毛線	小 山 ～ 佐 野
	鹿島線	香 取 ～ 十 二 橋
東金線	大 網 ～ 成 東	
京葉線(1)	東 京 ～ 蘇 我	
京葉線(2)	西 船 橋 ～ 南 船 橋	
京葉線(3)	西 船 橋 ～ 市 川 塩 浜	

注) 網掛け部分は、鉄道 OD 調査の対象外区間。



表 I -2-2 首都圏の鉄道調査区間表(2)

事業者名	路線名	調査区間
東日本旅客鉄道	湘南新宿ライン	大 宮 ～ 横 浜
	東北新幹線	東 京 ～ 小 山
	上越新幹線	東 京 ～ 本 庄 早 稲 田
東海旅客鉄道	東海道新幹線	東 京 ～ 小 田 原
東京都交通局	都営浅草線	西 馬 込 ～ 押 上
	都営三田線	目 黒 ～ 西 高 島 平
	都営新宿線	本 八 幡 ～ 新 宿
	都営大江戸線	都 庁 前 ～ 都 庁 前 ～ 光 が 丘
	日暮里・舎人ライナー	日 暮 里 ～ 見 沼 代 親 水 公 園
横浜市交通局	ブルーライン	あ ざ み 野 ～ 湘 南 台
	グリーンライン	日 吉 ～ 中 山
東京地下鉄	銀座線	渋 谷 ～ 浅 草
	丸ノ内線(1)	池 袋 ～ 荻 窪
	丸ノ内線(2)	中 野 坂 上 ～ 方 南 町
	日比谷線	北 千 住 ～ 中 目 黒
	東西線	中 野 ～ 西 船 橋
	千代田線	北 綾 瀬 ～ 代 々 木 上 原
	有楽町線	和 光 市 ～ 新 木 場
	半蔵門線	渋 谷 ～ 押 上
	南北線	目 黒 ～ 赤 羽 岩 淵
	副都心線	和 光 市 ～ 渋 谷
京浜急行電鉄	京浜急行本線	泉 岳 寺 ～ 浦 賀
	逗子線	金 沢 八 景 ～ 新 逗 子
	久里浜線	堀 ノ 内 ～ 三 崎 口
	空港線	京 急 蒲 田 ～ 羽 田 空 港
	大師線	京 急 川 崎 ～ 小 島 新 田
小田急電鉄	小田原線	新 宿 ～ 小 田 原
	江ノ島線	相 模 大 野 ～ 片 瀬 江 ノ 島
	多摩線	新 百 合 ケ 丘 ～ 唐 木 田
京王電鉄	京王線	新 宿 ～ 京 王 八 王 子
	高尾線	北 野 ～ 高 尾 山 口
	動物園線	高 幡 不 動 ～ 多 摩 動 物 公 園
	相模原線	調 布 ～ 橋 本
	競馬場線	東 府 中 ～ 府 中 競 馬 正 門 前
	井の頭線	渋 谷 ～ 吉 祥 寺

表 I -2-3 首都圏の鉄道調査区間表(3)

事業者名	路線名	調査区間
東京急行電鉄	東横線	渋谷 ～ 横浜 浜
	目黒線	目黒 ～ 日吉
	池上線	五反田 ～ 蒲田
	大井町線	大井町 ～ 溝の口
	世田谷線	三軒茶屋 ～ 下高井戸
	田園都市線	渋谷 ～ 中央林間
	東急多摩川線	多摩川 ～ 蒲田
	こどもの国線	長津田 ～ こどもの国
西武鉄道	新宿線	西武新宿 ～ 本川越
	池袋線	池袋 ～ 吾野
	秩父線	吾野 ～ 西武秩父
	豊島線	練馬 ～ 豊島園
	西武園線	東村山 ～ 西武園
	国分寺線	東村山 ～ 国分寺
	多摩湖線	国分寺 ～ 西武遊園地
	多摩川線	武蔵境 ～ 是政
	拝島線	小平 ～ 拝島
	狭山線	西所沢 ～ 西武球場前
	山口線	西武遊園地 ～ 西武球場前
	西武有楽町線	小竹向原 ～ 練馬
	東武鉄道	伊勢崎線(1)
伊勢崎線(2)		曳舟 ～ 押上
亀戸線		曳舟 ～ 亀戸
大師線		西新井 ～ 大師前
日光線		東武動物公園 ～ 家中
野田線		大宮 ～ 船橋
東上線		池袋 ～ 寄居
越生線		坂戸 ～ 越生
京成電鉄	京成本線	京成上野 ～ 成田空港
	押上線	押上 ～ 青砥
	千葉線	京成津田沼 ～ 千葉中央
	金町線	京成高砂 ～ 京成金町
	東成田線	京成成田 ～ 東成田
	千原線	千葉中央 ～ ちはら台
	成田空港線*	京成高砂 ～ 成田空港
山万	ユーカリが丘線	ユーカリが丘 ～ 井野
芝山鉄道	芝山鉄道線	東成田 ～ 芝山千代田
新京成電鉄	新京成線	京成津田沼 ～ 松戸

注)「京成高砂」～「印旛日本医大」区間は、北総鉄道と重複。

表 I -2-4 首都圏の鉄道調査区間表(4)

事業者名	路線名	調査区間
秩父鉄道	秩父本線	波 久 礼 ～ 羽 生
相模鉄道	相模鉄道本線	横 浜 ～ 海 老 名
	いずみ野線	二 俣 川 ～ 湘 南 台
関東鉄道	常総線	取 手 ～ 下 館
	竜ヶ崎線	佐 貫 ～ 竜 ヶ 崎
流鉄	流山線	馬 橋 ～ 流 山
小湊鐵道	小湊鐵道線	五 井 ～ 上 総 中 野
北総鉄道	北総線	京 成 高 砂 ～ 印 旛 日 本 医 大
千葉都市モノレール	2号線	千 葉 ～ 千 城 台
	1号線	千 葉 み な と ～ 県 庁 前
いすみ鉄道	いすみ鉄道線	上 総 中 野 ～ 城 見 ヶ 丘
江ノ島電鉄	江ノ島電鉄線	藤 沢 ～ 鎌 倉
横浜新都市交通	金沢シーサイド線	新 杉 田 ～ 金 沢 八 景
多摩都市モノレール	多摩都市モノレール線	多摩センター ～ 上 北 台
ゆりかもめ	東京臨海新交通臨海線	新 橋 ～ 豊 洲
東京臨海高速鉄道	りんかい線	新 木 場 ～ 大 崎
箱根登山鉄道	箱根登山鉄道線	小 田 原 ～ 強 羅
東葉高速鉄道	東葉高速線	西 船 橋 ～ 東 葉 勝 田 台
伊豆箱根鉄道	大雄山線	小 田 原 ～ 大 雄 山
埼玉高速鉄道	埼玉高速鉄道線	赤 羽 岩 淵 ～ 浦 和 美 園
横浜高速鉄道	みなとみらい線	横 浜 ～ 元 町 ・ 中 華 街
首都圏新都市鉄道	つくばエクスプレス	秋 葉 原 ～ つ く ば
東京モノレール	東京モノレール羽田線	羽田空港第2ビル ～ モノレール浜松町
湘南モノレール	江の島線	大 船 ～ 湘 南 江 の 島
埼玉新都市交通	伊奈線	大 宮 ～ 内 宿

注) 網掛け部分は、鉄道 OD 調査の対象外区間。

表 I -2-5 中京圏の鉄道調査区間表(1)

事業者名	路線名	調査区間
東海旅客鉄道	東海道新幹線	豊 橋 ～ 岐 阜 羽 島
	東海道本線	関ヶ原 ～ 二 川
	関西本線	名 古 屋 ～ 加 佐 登
	中央本線	名 古 屋 ～ 落 合 川
	東海道線 (1)	大 垣 ～ 美 濃 赤 坂
	紀勢本線	一 身 田 ～ 高 茶 屋
	高山本線	岐 阜 ～ 下 麻 生
	飯田線	豊 橋 ～ 東 上
	太多線	多 治 見 ～ 美 濃 太 田
	武豊線	大 府 ～ 武 豊
	名古屋市交通局	東山線
名城線		大曾根 ～ 金山 ～ ナゴヤドーム前矢田
鶴舞線		上 小 田 井 ～ 赤 池
名港線		金 山 ～ 名 古 屋 港
桜通線		中 村 区 役 所 ～ 野 並
上飯田線		平 安 通 ～ 上 飯 田
名古屋鉄道	名古屋本線	名 鉄 岐 阜 ～ 豊 橋
	常滑線	神 宮 前 ～ 常 滑
	河和線	太 田 川 ～ 河 和
	知多新線	富 貴 ～ 内 海
	築港支線	大 江 ～ 東 名 古 屋 港
	三河線	猿 投 ～ 碧 南
	豊田線	梅 坪 ～ 赤 池
	蒲郡線	吉 良 吉 田 ～ 蒲 郡
	豊川線	国 府 ～ 豊 川 稻 荷
	西尾線	新 安 城 ～ 吉 良 吉 田
	瀬戸線	栄 町 ～ 尾 張 瀬 戸
	小牧線	上 飯 田 ～ 犬 山
	犬山線	東 枇 杷 島 ～ 新 鶉 沼
	広見線	犬 山 ～ 御 嵩
	津島線	須ヶ口 ～ 津 島
	尾西線	弥 富 ～ 玉 ノ 井
	竹鼻線	笠 松 ～ 江 吉 良
	各務原線	名 鉄 岐 阜 ～ 新 鶉 沼
	羽島線	江 吉 良 ～ 新 羽 島
	空港線	常 滑 ～ 中 部 国 際 空 港
近畿日本鉄道	名古屋線	近 鉄 名 古 屋 ～ 桃 園
	湯の山線	近 鉄 四 日 市 ～ 湯 の 山 温 泉

注) 網掛け部分は、鉄道 OD 調査の対象外区間(名古屋鉄道広見線については、犬山～新可児が対象区間)。

表 I -2-6 中京圏の鉄道調査区間表(2)

事業者名	路線名	調査区間
近畿日本鉄道	内部線	近 鉄 四 日 市 ～ 内 部
	八王子線	日 永 ～ 西 日 野
	鈴鹿線	伊 勢 若 松 ～ 平 田 町
三岐鉄道	三岐線	近 鉄 富 田 ～ 西 藤 原
	北勢線	西 桑 名 ～ 阿 下 喜
豊橋鉄道	渥美線	新 豊 橋 ～ 杉 山
樽見鉄道	樽見線	大 垣 ～ 樽 見
長良川鉄道	越美南線	美 濃 太 田 ～ 母 野
愛知環状鉄道	愛知環状鉄道線	岡 崎 ～ 高 蔵 寺
伊勢鉄道	伊勢線	津 ～ 河 原 田
明知鉄道	明知線	恵 那 ～ 明 智
東海交通事業	城北線	枇 杷 島 ～ 勝 川
名古屋臨海高速鉄道	あおなみ線	名 古 屋 ～ 金 城 ぶ 頭
愛知高速交通	東部丘陵線	藤 が 丘 ～ 八 草
養老鉄道	養老線	桑 名 ～ 揖 斐

注) 網掛け部分は、鉄道 OD 調査の対象外区間。

表 I-2-7 近畿圏の鉄道調査区間表(1)

事業者名	路線名	調査区間
西日本旅客鉄道	山陽新幹線	新 大 阪 ～ 姫 路
	東海道本線	彦 根 ～ 神 戸
	湖西線	山 科 ～ 北 小 松
	大阪環状線	大 阪 ～ 大 正 ～ 天 満
	桜島線	西 九 条 ～ 桜 島
	福知山線	大 阪 ～ 丹 波 大 山
	山陽本線	神 戸 ～ 網 干
	和田岬支線	兵 庫 ～ 和 田 岬
	加古川線	加 古 川 ～ 青 野 ケ 原
	山陰本線	京 都 ～ 胡 麻
	関西本線	柘 植 ～ J R 難 波
	草津線	草 津 ～ 柘 植
	奈良線	木 津 ～ 京 都
	桜井線	奈 良 ～ 高 田
	片町線	木 津 ～ 京 橋
	和歌山線	和 歌 山 ～ 名 手
		高 野 口 ～ 王 寺
	阪和線	天 王 寺 ～ 和 歌 山
	東羽衣支線	鳳 ～ 東 羽 衣
	紀勢本線	和 歌 山 市 ～ 紀 三 井 寺
	播但線	姫 路 ～ 溝 口
	関西空港線	日 根 野 ～ 関 西 空 港
	姫新線	姫 路 ～ 太 市
	J R 東西線	尼 崎 ～ 京 橋
おおさか東線	放 出 ～ 久 宝 寺	
東海旅客鉄道	東海道新幹線	京 都 ～ 新 大 阪
大阪市交通局	御堂筋線	江 坂 ～ な か も ず
	谷町線	大 日 ～ 八 尾 南
	四つ橋	西 梅 田 ～ 住 之 江 公 園
	中央線	コスモスクエア ～ 長 田
	千日前線	野 田 阪 神 ～ 南 巽
	堺筋線	天神橋筋六丁目 ～ 天 下 茶 屋
	長堀鶴見緑地線	大 正 ～ 門 真 南
	南港ポートタウン線	住 之 江 公 園 ～ コスモスクエア
今里筋線	井 高 野 ～ 今 里	
京都市交通局	烏丸線	竹 田 ～ 国 際 会 館
	東西線	太 秦 天 神 川 ～ 六 地 蔵
神戸市交通局	西神・山手線	西 神 中 央 ～ 新 神 戸
	海岸線	新 長 田 ～ 三 宮 ・ 花 時 計 前

注) 網掛け部分は、鉄道 OD 調査の対象外区間。

表 I -2-8 近畿圏の鉄道調査区間表(2)

事業者名	路線名	調査区間
近畿日本鉄道	難波線	大 阪 難 波 ～ 大 阪 上 本 町
	大阪線	大 阪 上 本 町 ～ 西 青 山
	奈良線	大 阪 上 本 町 ～ 近 鉄 奈 良
	南大阪線	大 阪 阿 部 野 橋 ～ 橿 原 神 宮 前
	京都線	京 都 ～ 大 和 西 大 寺
	長野線	古 市 ～ 河 内 長 野
	橿原線	大 和 西 大 寺 ～ 橿 原 神 宮 前
	御所線	尺 土 ～ 近 鉄 御 所
	吉野線	橿 原 神 宮 前 ～ 吉 野
	田原本線	新 王 寺 ～ 西 田 原 本
	天理線	平 端 ～ 天 理
	生駒線	王 寺 ～ 生 駒
	道明寺線	道 明 寺 ～ 柏 原
	信貴線	河 内 山 本 ～ 信 貴 山 口
けいはんな線	長 田 ～ 学 研 奈 良 登 美 ヶ 丘	
南海電気鉄道	南海本線	難 波 ～ 和 歌 山 市
	高野線	難 波 ～ 極 楽 橋
	汐見橋線	汐 見 橋 ～ 岸 里 玉 出
	高師浜線	羽 衣 ～ 高 師 浜
	多奈川線	み さ き 公 園 ～ 多 奈 川
	加太線	紀 ノ 川 ～ 加 太
	和歌山港線	和 歌 山 市 ～ 和 歌 山 港
	空港線	泉 佐 野 ～ 関 西 空 港
阪神電気鉄道	本線	梅 田 ～ 元 町
	武庫川線	武 庫 川 ～ 武 庫 川 団 地 前
	なんば線	尼 崎 ～ 大 阪 難 波
阪急電鉄	神戸本線	梅 田 ～ 三 宮
	宝塚本線	梅 田 ～ 宝 塚
	京都本線	梅 田 ～ 河 原 町
	今津線	今 津 ～ 宝 塚
	伊丹線	塚 口 ～ 伊 丹
	甲陽線	夙 川 ～ 甲 陽 園
	箕面線	石 橋 ～ 箕 面
	千里線	天 神 橋 筋 六 丁 目 ～ 北 千 里
	嵐山線	桂 ～ 嵐 山

注) 網掛け部分は、鉄道 OD 調査の対象外区間。

表 I -2-9 近畿圏の鉄道調査区間表(3)

事業者名	路線名	調査区間
京阪電気鉄道	京阪本線	淀屋橋 ～ 三条
	宇治線	中書島 ～ 宇治
	交野線	枚方市 ～ 私市
	京津線	御陵 ～ 浜大津
	石山坂本線	石山寺 ～ 坂本
	鴨東線	三条 ～ 出町柳
	中之島線	中之島 ～ 天満橋
北大阪急行電鉄	南北線	江坂 ～ 千里中央
神戸高速鉄道	東西線(1)	西代 ～ 三宮
	東西線(2)	高速神戸 ～ 元町
	南北線	湊川 ～ 新開地
山陽電気鉄道	本線	西代 ～ 山陽姫路
	網干線	飾磨 ～ 山陽網干
神戸電鉄	有馬線	湊川 ～ 有馬温泉
	三田線	有馬口 ～ 三田
	粟生線	鈴蘭台 ～ 粟生
	公園都市線	横山 ～ ウッディタウン中央
能勢電鉄	妙見線	川西能勢口 ～ 妙見口
	日生線	山下 ～ 日生中央
水間鉄道	水間線	貝塚 ～ 水間観音
京福電気鉄道	嵐山本線	四条大宮 ～ 嵐山
	北野線	帷子ノ辻 ～ 北野白梅町
近江鉄道	近江本線	鳥居本 ～ 貴生川
	多賀線	高宮 ～ 多賀大社前
	八日市線	八日市 ～ 近江八幡
大阪府都市開発	泉北高速鉄道線	中百舌鳥 ～ 和泉中央
神戸新交通	ポートアイランド線	三宮 ～ 神戸空港
	六甲アイランド線	住吉 ～ マリンパーク
叡山電鉄	叡山本線	出町柳 ～ 八瀬比叡山口
	鞍馬線	宝ヶ池 ～ 鞍馬
北神急行電鉄	北神線	谷上 ～ 新神戸
大阪高速鉄道	大阪モノレール線	大阪空港 ～ 門真市
	彩都線	万博記念公園 ～ 彩都西
和歌山電鐵	貴志川線	和歌山 ～ 貴志
伊賀鉄道	伊賀線	伊賀神戸 ～ 伊賀上野

注) 網掛け部分は、鉄道 OD 調査の対象外区間。



## 2-3 調査体系

平成 22 年大都市交通センサスの調査体系を以下に示す（図 I-2-5）。

### (1) 鉄道調査

#### ① 鉄道定期券・普通券等利用者調査

調査区域内の調査対象鉄道駅で降車する旅客に対して調査票を配布し、出発地、目的地、利用区間、移動目的等を調査した。

#### ② 鉄道 OD 調査

鉄道利用者の駅間の流動量を調査した。

#### ③ 鉄道輸送サービス実態調査

調査対象路線の車両定員数、車両編成数、運行本数から、時間帯別の輸送力を調査した。

### (2) バス・路面電車調査

#### ① バス・路面電車定期券・普通券等利用者調査

調査対象となるバスターミナルにおいて乗降する旅客に対して調査票を配布し、出発地、目的地、利用区間、移動目的等を調査した。

#### ② バス・路面電車 OD 調査

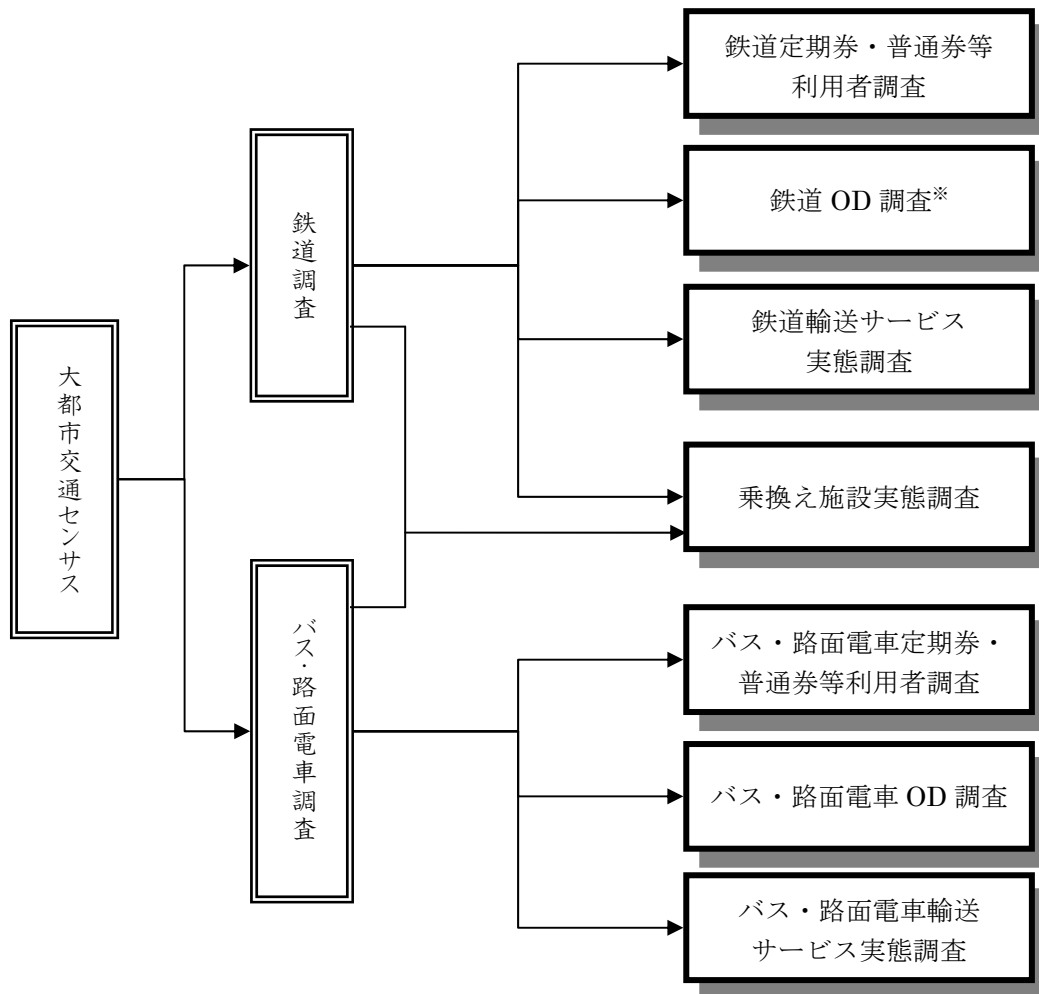
調査対象となるターミナルに乗り入れる系統におけるバス・路面電車の停留所間または駅間の流動量を調査した。

#### ③ バス・路面電車輸送サービス実態調査

調査対象系統の車両定員数、運行本数から、時間帯別の輸送力を調査した。

### (3) 乗換え施設実態調査（鉄道駅乗換え調査および鉄道駅バスターミナル間乗換え調査）

調査対象となる乗換え駅やバスターミナルにおける乗換え関連施設の整備状況や乗換え時間等を調査した。



※自動改札機導入の有無により、調査内容・方法が異なる。

図 I -2-5 平成 22 年大都市交通センサスの調査体系

【参考】調査企画設計からマスターデータ・ファイル作成までの流れ

以下に平成 22 年大都市交通センサスの調査企画設計からマスターデータ・ファイル作成までの作業手順を示す（図 I-2-6）。

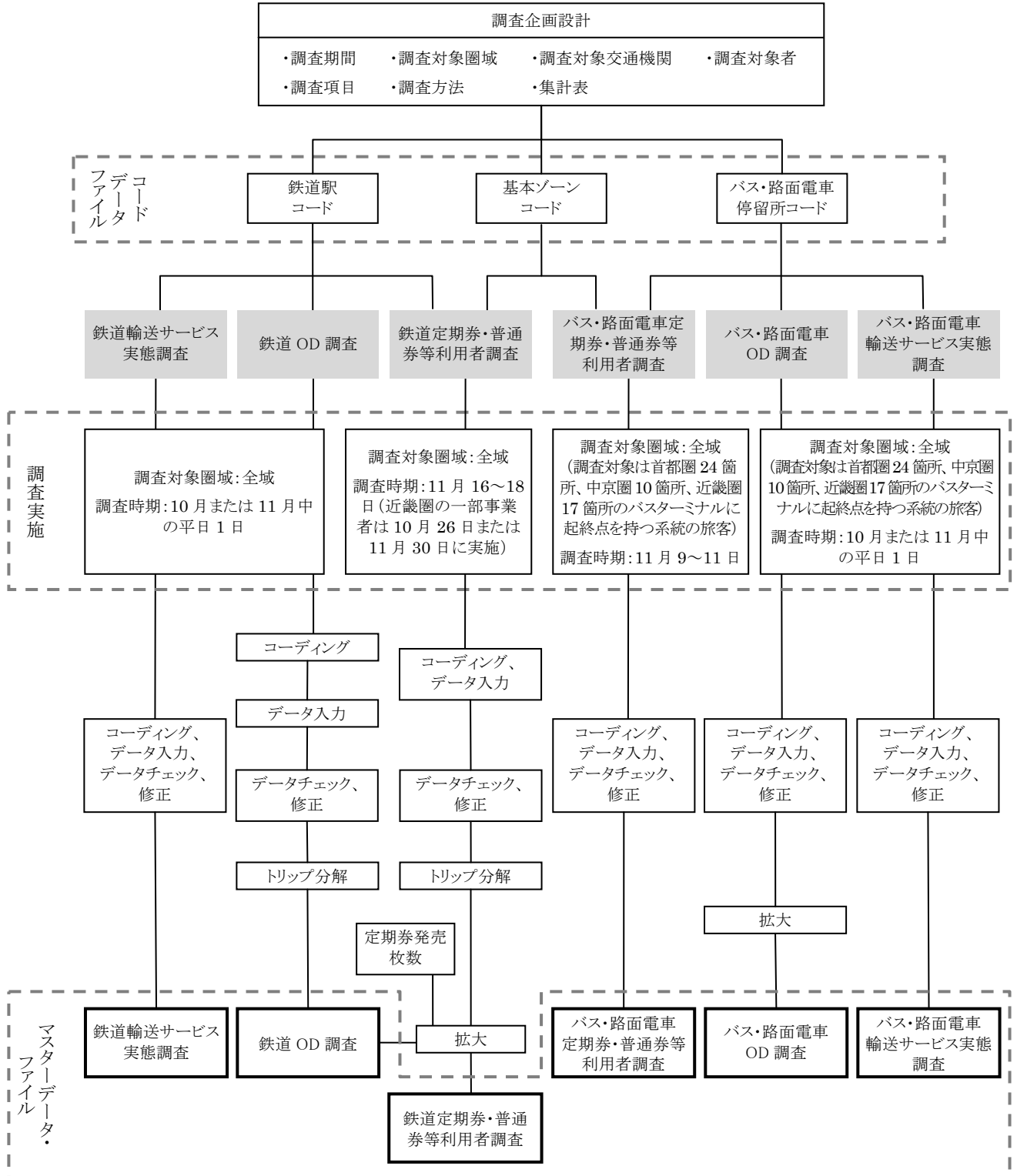


図 I-2-6 平成 22 年大都市交通センサスの調査企画設計からマスターデータ・ファイル作成までの作業の流れ

### 3. 調査の検討体制

本分析調査（平成 24 年度調査）では、学識経験者、事業者および行政担当者より構成する調査検討委員会を組織し、調査の進め方および調査結果の集計・分析等に、専門的見地からの有益な意見を得ながら検討を行った。

調査検討委員会の下部組織には、圏域ごとに専門委員会を設置し、調査の円滑な実施を図った。

また、調査上の技術的課題に対しては、技術検討ワーキンググループを設置し、その中で検討を行い、調査検討委員会、圏域専門委員会に報告を行った（図 I-3-1、表 I-3-1）。

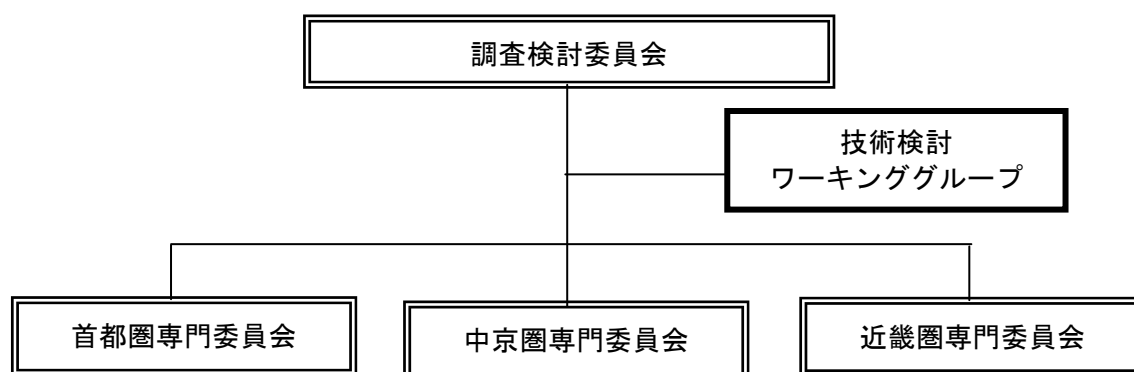


図 I-3-1 調査の検討体制

表 I-3-1 委員会の構成

委員会・WG	目的	構成	開催数
調査検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査方針作成</li> <li>調査結果の照査</li> <li>分析結果のとりまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学識経験者</li> <li>鉄道・バス事業者（団体）</li> <li>国土交通省</li> </ul>	3回
首都圏専門委員会 中京圏専門委員会 近畿圏専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種分析結果の照査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各圏域の鉄道・バス事業者（団体）</li> <li>学識経験者</li> <li>国土交通省</li> </ul>	各2回
技術検討ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象・テーマ案作成</li> <li>作業方針作成</li> <li>各種分析結果の照査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学識経験者</li> <li>国土交通省</li> </ul>	5回

## 4. 解析の実施方針

本分析調査における大都市交通センサスデータの解析は、以下の実施方針に基づいて実施した。

### **実施方針1** 国勢調査等を用いて大都市交通センサスデータを検証する

平成 22 年国勢調査の調査結果が公表されたことから、悉皆調査である本国勢調査データを用いて今回の大都市交通センサスデータとの比較チェックを行い、センサスデータの妥当性を検証する。また、さらにほぼ同時期にパーソントリップ調査が実施されており、データが得られる都市圏については、パーソントリップ調査データとの比較チェックも実施する。

本検証作業を通じて、センサスデータの有効性や精度上の課題に関する知見を得るとともに、必要に応じてセンサスデータの補正を行う。

### **実施方針2** 他の統計調査を活用しつつ、都市圏ごとの社会・経済動向を把握する

大都市交通センサスデータの具体的な解析作業に先立ち、国勢調査等の他の統計調査データを活用し、都市圏ごとの社会・経済動向を分析・把握する。

特に、近年において重要な社会・経済的な変化の趨勢として、少子・高齢化、人口減少、女性の社会進出、非正規雇用者の増加、域内総生産の推移等、都市圏ごとの公共交通実態に影響を与えると考えられる社会・経済的な動向・変化に着目して分析を行い、実態を把握する。

### **実施方針3** 政策課題や政策ニーズに対応した分析を行う

依然として高い混雑率を示す路線等への対応や、相互直通運転における輸送障害の影響の広域化、鉄道駅と周辺地域との一体的な整備といった政策課題や政策ニーズに対応した分析を行う。

加えて、東日本大震災を契機として議論されている都市防災・減災対策への対応等に関連したトピック的分析についても実施する。

さらに、調査検討委員会、圏域専門委員会、技術検討ワーキンググループでの検討・討議や意見を踏まえて分析テーマを設定する。

### **実施方針4** 鉄道の将来需要予測に役立つ分析を行う

従来から大都市交通センサスデータは、運輸政策審議会をはじめとして、将来需要予測モデルの構築や予測作業のために活用されている。現在、次期答申に向けた東京都市圏の将来鉄道需要予測作業が計画されている。

そのため、本作業では、そうした将来予測作業を念頭に置きつつ、将来需要予測作業の参考に資する分析テーマを設定する。

## 実施方針5 大都市交通センサスの特長を活かした分析を行う

大都市交通センサスデータは、鉄道利用者における真の発着地域間における初乗り最終降車駅や途中の乗換駅、利用券種、利用列車種別といった鉄道経路に係る詳細な情報を把握することができる唯一の大規模な実態調査である。また、昭和35年から5年おきの時系列データが得られるという特長がある。また、バス・路面電車の利用状況については、特定のバス・路面電車ターミナルを利用する全てのバス・路面電車利用者数と輸送力が把握できるという特長がある。こうした特長を十分に念頭に置きながら分析テーマを設定する。

また、鉄道利用者に関しては、今回の実態調査から新たに次のような改良が行われている。こうした新たに分析が可能になった調査項目についても、それらを活かした分析テーマの設定を行う。

- ① 第2トリップの目的地が把握可能
- ② 目的地・出発地が町丁目レベルで把握可能
- ③ 通勤者の勤務先の始業時刻が把握可能

以上の実施方針を踏まえて、大都市交通センサスデータの解析における分析テーマを図I-4-1のように設定した。

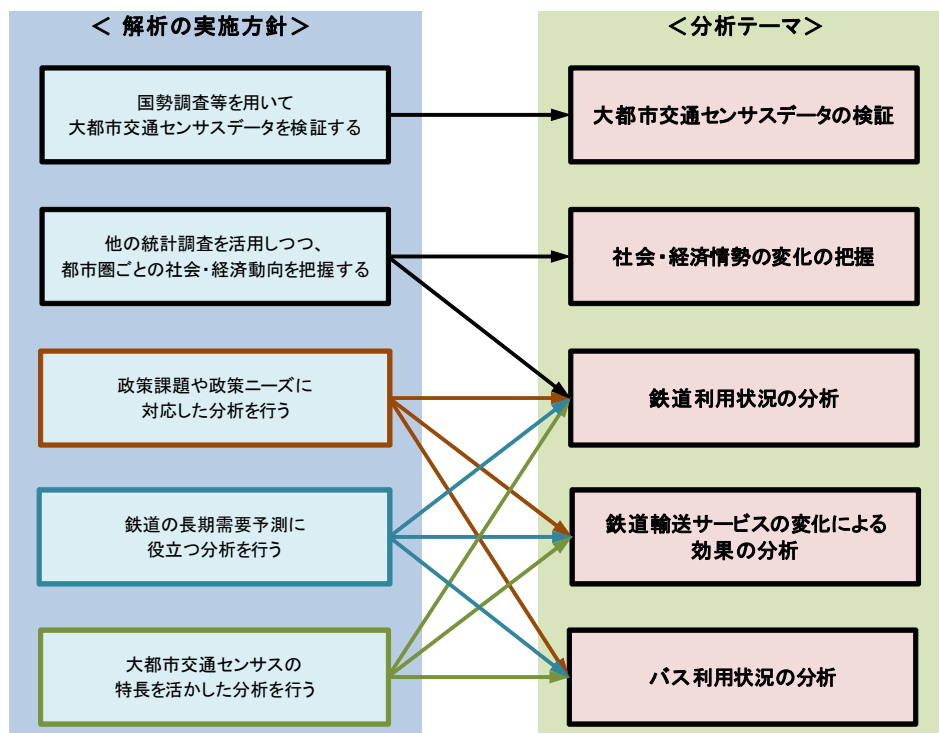


図 I-4-1 実施方針と分析テーマの対応